Exsight

取扱説明書

小電力型ワイヤレスセキュリティシステム

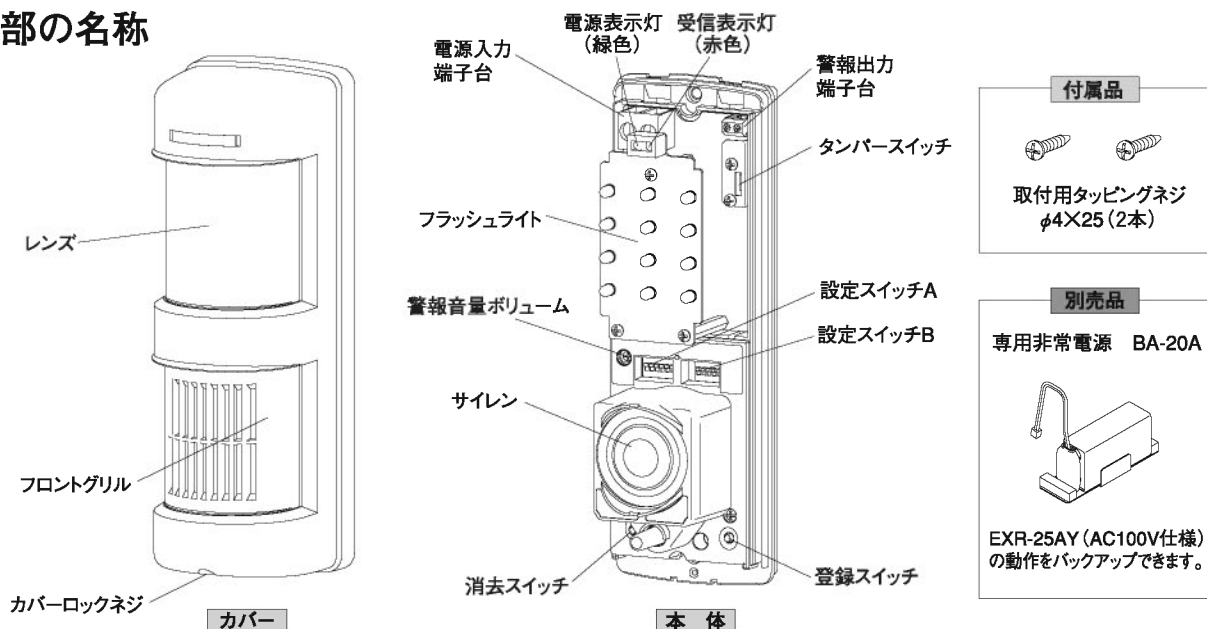
黄色フラッシュ・サイレン付き受信機

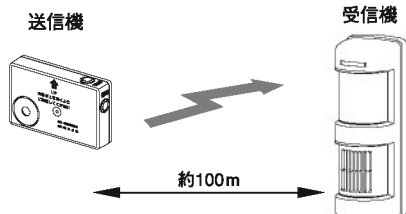
EXR-25Y/EXR-25AY

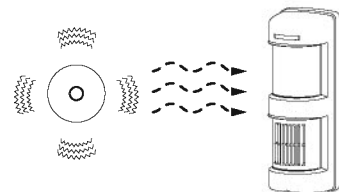
このたびは本商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に本説明書をお読みいただき、正しいご使用をお願い申し上げます。

1 商品説明

「黄色フラッシュ・サイレン付き受信機 EXR-25Y/EXR-25AY」は、弊社の小電力型ワイヤレスセキュリティシステムの送信機シリーズおよびリモコン、コントローラ（双方向無線対応型）と組み合わせてご使用ください。
本機が警報信号を受信するとフラッシュライトとサイレンが動作して周囲に異常発生を報知します。
リモコン（双方向無線対応型）を組み合わせてご使用いただく方法（シングルステーションモード）とコントローラ（双方向無線対応型）の威嚇機器としてご使用いただく方法（コントローラ連動モード）でご使用いただけます。

2 各部の名称

3 ご使用上の注意

- 本機の受信可能距離は見通し距離で約100mです。設置場所の建物の構造や送信機またはコントローラ（双方向無線対応型）との間の障害物など、周囲の環境により受信可能距離が短くなる場合がありますのでご注意ください。

- 本機は防雨構造です。防水構造ではありませんのでホースなどで直接水をかけないでください。また、常時水のかかる場所や浴室などの湿気の多い環境でのご使用は故障の原因となります。
- 本機の防雨性能を維持するために施工は正しい向きに行ってください。横向きや倒立させた施工をされると故障の原因となります。
- 2台以上の送信機から同時に送信されると、受信機が信号を受け付けない場合がありますが故障ではありません。
- 実際に送信機またはコントローラ（双方向無線対応型）および本機の設置・配線工事を行う前に電源線を仮配線し、送信機の登録および設置しようとする場所間で確実に受信可能であることを確認してください。
- 警報ベル（当社製KB-6など）をご使用の場合は、本機と警報ベルとの距離は可能な限り（少なくとも3m以上）遠ざけてください。そのうえ設置完了後には、実際に警報ベルを鳴動させた状態で各送信機からの電波が正常に受信できることを必ず確認してください。
  ※警報ベル内部には一般的にDCモーターが使用されており、動作時には比較的強い電気ノイズが発生します。

- 強い電界や磁気を発生する機器テレビ・ＯＡ機器・モータなどの近くでは正常に動作しないことがあります。
- 本機から発生する電界や磁気により、近くの機器が正常に動作しない場合があります。必ずご確認のうえ設置してください。
- 本機は指定された電源電圧以外はご使用にならないでください。
  誤配線または違う電源電圧を使用しますと火災・感電の原因となる場合があります。
- 改造すると法律により罰せられます。また、故障の原因ともなりますので、分解や改造は絶対にしないでください。
- 本機は日本国内の使用に限ります。

4 機器の登録および消去

登録上の注意

●本機をご使用になる前に、必ず使用する機器を登録してください。
登録されないと正しく機能しません。

●送信機またはコントローラ（双方向無線対応型）を登録する場合、本機との間の距離を1m以内にする必要があるので、本設置前に登録作業をしてください。

●本機に登録する方法は、発報登録のみです。

●本機に送信機やリモコンを合計50台まで登録可能です。
（リモコンを複数台登録する事も可能です。その場合は、全てのリモコンで操作が可能になります）

●ご使用の運用モードにより登録する機器は異なります。登録前に運用モードを確認し、用途切替スイッチの運用モードをあらかじめ設定してください。
運用モードの詳細は、〔９.運用方法〕を参照してください。
その他のスイッチは出荷時設定のままにしてください。

●各運用モードにおける登録する機器は次の通りです。

シングルステーションモード

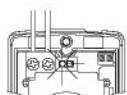
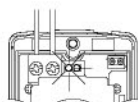
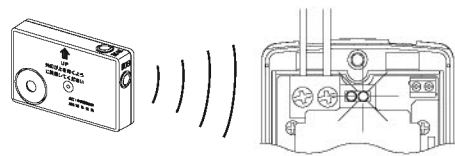
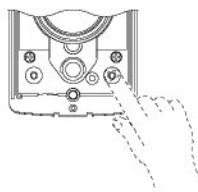
ご使用になる全ての送信機とリモコンを登録してください。

コントローラ連動モード

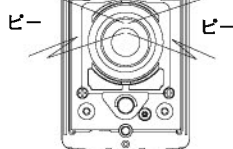
コントローラのみを登録してください。
コントローラに登録した送信機を、本機にも登録された場合はコントローラ側を解除しても、その送信機からの信号を本機が直接受信し、警報動作しますのでご注意ください。
リモコンを本機に登録しても、警備／解除動作は機能しません。
（リモコンや送信機は全てコントローラ側に登録します。
詳しくはコントローラ側の取扱説明書をご覧ください）

登録

①カバーロックネジをゆるめ、カバーをはずしてください。

②電源を投入して電源表示灯（緑色）が点灯し、通常モードになっていることを確認してください。

③登録スイッチを１秒以上押してください。
電源表示灯（緑色）と受信表示灯（赤色）が交互点灯して、登録モードになります。

④登録したい送信機およびコントローラ（双方向無線対応型）、リモコンなどから送信を行ってください。
（詳しくは各々の取扱説明書をご覧ください）

⑤登録がされると、本機が報知音「ピー」とフラッシュライトの点灯、警報出力動作をそれぞれ１秒間行います。
また登録と同時に自動的に通常モードに戻ります。電源表示灯（緑色）は点灯状態になります。

⑥登録した機器をもう一度動作させて、所定の動作をすれば正しく登録されています。
動作しない場合は、違う機器が登録されていますので、一度消去して、もう一度最初から登録をやり直してください。

ピー　ピー

⑦続けて別の機器を登録する場合は、再度③〜⑥の作業を繰り返してください。

●登録作業を終了する時は、交互点灯（登録モード）の時に何も送信しないで登録スイッチを押してください。そのまま通常モードに戻ります。

●登録モードに切り替わったまま何も操作がされない場合は、約2分間経過後に、報知音が「ピー」と鳴動し自動的に通常モードに戻ります。

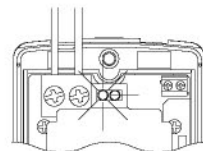
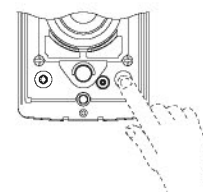
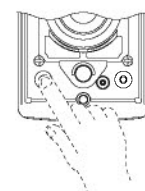
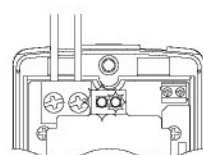
●一度登録された内容は、電源供給を停止しても消えません。

●登録済みの機器を誤ってもう一度登録した場合、⑤と同じ動作をしますが、二重登録はされません。

●50台を越えて、51台目の機器を登録しようとした場合は登録されずに本機より報知音「ブー」が１秒間鳴動し、通常モードに戻ります。

消去

●登録を変更される場合は、一度全ての登録を消去してからもう一度登録を行ってください。
送信機ごとの個別消去はできませんので注意してください。

①電源を投入し、電源表示灯（緑色）が点灯して通常モードになっていることを確認してください。

②登録スイッチを１秒以上押してください。電源表示灯（緑色）と受信表示灯（赤色）が交互点灯して、登録モードになります。

③消去スイッチを１秒以上押してください。
登録されているすべての機器の登録が消去されます。
消去ができたら、電源表示灯（緑色）と受信表示灯（赤色）が交互点灯を止めて約2秒間消灯します。

④その後再び交互点灯（登録モード）に戻りますので、引き続き再登録作業を行ってください。
再登録作業を行わない場合は、再度登録スイッチを押すと通常モードに戻ります。

5 取付方法

仮設置

①送信機・受信機ともに設置・配線工事を行う前に電源線を仮配線し、設置しようとする場所間で確実に受信可能であることを確認してください。
②電源を供給して使用される送信機を登録後（4.機器の登録および消去の項参照）送信機の使用範囲内から電波が届いているかを確認してください。
③電波が届いていない場合は、本機の設置位置を変更するか、または別売の中継機を使用して電波が届くようにしてください。
（使用される中継機がRTX-200の場合は、システム中に1台しか使用できず、またRTX-300の場合は、リモコンの中継については1台しか使用できませんので注意してください）

● 受信状態が悪い場合は、受信時に受信表示灯が約4秒間点滅してお知らせします。
この場合本機または送信側の機器の設置場所を移動するか中継機をご使用ください。
リモコンなど移動する送信機からの信号は条件によって変動します。時々点滅動作する程度であれば運用上の支障はありません。

本設置

①仮設置で通信が確認できてから本機を本設置してください。
②電源の供給を行い、各種機能の設定をして運用を開始する準備をしてください。

取付

①カバーロックネジをゆるめ、カバーをはずしてください。
②裏面の入線口を加工してください。

【埋込配線の場合】
壁面からの配線引き出し箇所が配線ボックス内にくるように位置決めし、内部ノックアウトを破り入線口を通して端子に配線してください。

【露出配線の場合】
入線経路を決め使用する外部ノックアウト（天地4カ所）と対応する内部ノックアウト（4カ所）の2カ所をニッパなどで破り、入線口を通して端子に配線接続してください。

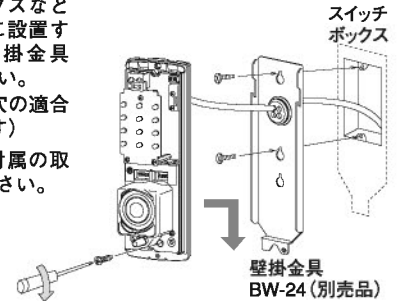
③本体を壁面に取り付けてください。

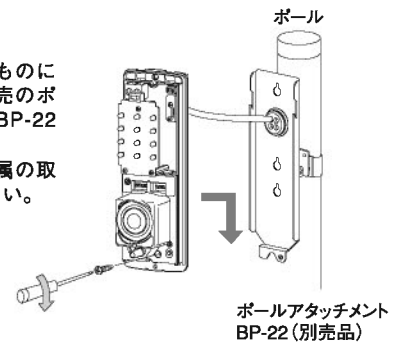
正面から見て傾きのないように
まっすぐに取り付けてください。

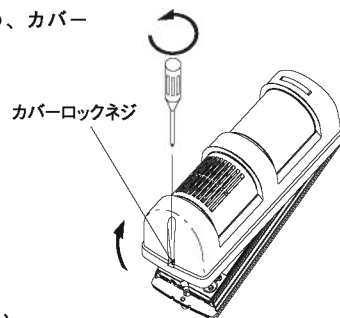
〔6.配線方法〕の項を参照して配線を行ってください。

④カバーを元通りはめて、カバーロックネジをしめてください。

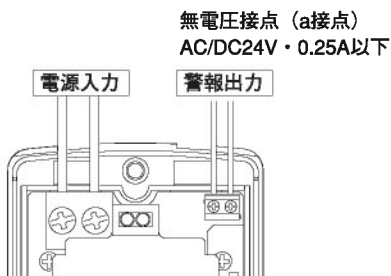
壁面に直接設置しない場合の設置例

●市販のスイッチボックスなどを使用して壁面などに設置する場合は、別売の壁掛金具BW-24をご使用ください。
（ボックスに固定する穴の適合ピッチは、83.5mmです）
●取付方法は、金具に付属の取付説明書をお読みください。

ポールなどへの設置例

●ポールなどの円柱形のものに取り付ける場合は、別売のポールアタッチメント BP-22をご使用ください。
●取付方法は、金具に付属の取付説明書をお読みください。

6 配線方法

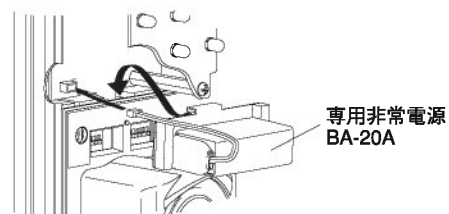
●本機は運用モードにかかわらず、電源への配線が必要です。
①カバーロックネジをゆるめ、カバーをはずしてください。

②端子台に配線をしてください。

機種	電源電圧
EXR-25Y	DC10～30V（極性なし）
EXR-25AY	AC100V

無電圧接点（a接点）
AC/DC24V・0.25A以下

EXR-25Yの配線可能距離（本機～電源間）

電線サイズ	電源電圧	
	DC12V	DC24V
φ0.9mm	50m	600m
φ1.2mm	150m	1100m
φ1.6mm	250m	1900m

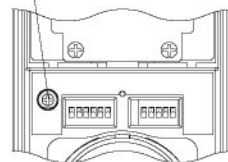
●本機の警備／解除の制御を電源供給で行わないでください。登録されている送信機の種類によっては正常に動作しない場合があります。
● EXR-25Y（DC10～30V仕様）に使用する電源は停電時にも動作できるバックアップ付きの機器を選んでください。
● EXR-25AY（AC100V仕様）のみ、停電時にも約30分間は動作できる専用非常電源 BA-20A をオプション設定しています。必要に応じてお買い求めください。
●使用方法は専用非常電源に付属の取扱説明書をお読みください。

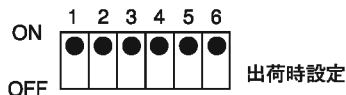
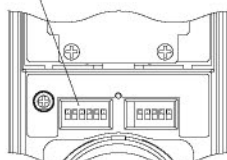
専用非常電源
BA-20A

7 機能の説明

本機は以下の機能を備えています。説明をお読みの上、ご使用用途や条件に応じた設定にしてください。

音量調整

●警報音量ボリューム

警報動作時のサイレン音量をボリュームにより無段階に調整することができます。
(無音～95dB以上)
音量が大きすぎる場合は、反時計方向に回して調整してください。
音量が小さすぎる場合は、時計方向に回して調整してください。
登録時、警備／解除時の報知音はボリュームの設定に関係なく一定音量です。

機能設定

●設定スイッチA

◎設定スイッチA-1 用途切替

運用されるモードに応じて選択します。

スイッチ	モード	説明
ON 1	コントローラ連動	コントローラ(双方向無線対応型)を中心としたシステムの場合に選択します。コントローラ側から本機の動作を制御できます。
OFF 1	シングルステーション	本機を中心としたシステムの場合に選択します。コントローラを使わずに各種送信機やリモコンで直接動作できます。

●コントローラ連動モードの場合、送信機からのタンパー警報は、コントローラ側のタンパー警報動作に連動して動作します。したがって本機からは送信機とコントローラの区別ができません。この場合は、コントローラ側で確認するようにしてください。

◎設定スイッチA-2 警報動作モード

各送信機からの警報を受信した信号の時間に沿って警報動作させるか、本機で設定したタイマー時間に沿って動作させるかの選択をします。

スイッチ	モード	説明
ON 2	リアルタイム動作	各送信機およびコントローラからの信号を受信している間、警報動作を行います。(※)
OFF 2	タイマー動作	本機で設定されたタイマー時間で動作します。 こちらを選択した場合、タイマー時間設定も必ず行ってください。

●リアルタイム動作時でも連続警報時間は最大10分です。

※ コントローラ連動モードの場合は、コントローラ側で設定されたタイマー時間で動作します。
シングルステーションモードで運用時は送信機からの信号に応じた時間だけ動作しますので、接点入力型送信機からの信号受信時にのみリアルタイム動作します。

◎設定スイッチA-3、4 タイマー時間設定

警報動作する時間を次のうちから選択します。

10秒	30秒	120秒	300秒
3: OFF / 4: OFF	3: ON / 4: OFF	3: OFF / 4: ON	3: ON / 4: ON

●設定スイッチA-2 警報動作モードの“タイマー動作”を選択した時のみ有効です。

●警報動作中に再度入力があっても時間は延長されません。
(リトリガされません)

◎設定スイッチA-5 警備表示

警備／解除状態を受信表示灯で表示させるかを選択します。

スイッチ	設定	説明
ON 5	表示あり	警備中に受信表示灯が点灯。
OFF 5	表示なし	表示なし。

●この機能はシングルステーションモードで使用した場合のみ有効になります。コントローラ連動モードで使用した場合、この設定は機能しませんのでご注意ください。

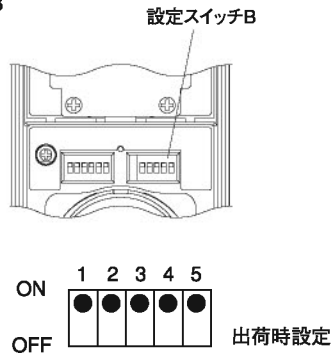
●受信表示灯は登録した送信機やリモコンの電波を受信した場合にも点灯します。したがって「表示あり」に設定した場合、解除状態でも点灯することがあります。

※受信表示灯は警備表示より受信表示の方が優先されます。

◎設定スイッチA-6 定期送信異常表示

定期送信異常時に電源表示灯で表示させるかを選択します。

スイッチ	設定	説明
ON 6	表示あり	異常時、電源表示灯が2回点滅のくり返し動作します。
OFF 6	表示なし	表示なし。

●設定スイッチB

◎設定スイッチB-1　報知音

シングルステーションモードでご使用時にのみ選択可能な機能です。
報知音の有無を選択できます。
コントローラ連動モード時は、どちらに設定してもコントローラ側の設定により決まります。

スイッチ	設定	内容
ON 1	報知音あり	リモコン操作時および送信機の電池切れ時に報知音が鳴動します。
OFF 1	報知音なし	報知音はしません。

①リモコンにより警備／解除を操作した時の報知音
　警備開始時の音：「ピッ」と鳴動し報知します。
　解除時の音　　：「ピッピッ」と鳴動し報知します。

②解除時に警報メモリーが残されている場合の報知音
　：「ピッピッ」の後に「ピー」（2秒間）と鳴動し報知します。

③警備開始時に戸締まりされていない場合の報知音（ループ異常時）
　：「ピー」を5回くり返し鳴動し報知します。

※ この報知音と同時にフラッシュライトも点灯し、音と光で状態を報知します。

④送信機からの電池切れ報知を受信した時
　：20秒に1回「ピッ」と鳴動をくり返して報知します。

◎設定スイッチB-2　フラッシュライト

警報動作時のフラッシュライト点灯の有無を選択できます。

スイッチ	設定	内容
ON 2	点灯あり	警報動作時に0.4秒点滅→0.4秒消灯を設定された時間くり返します。
OFF 2	点灯なし	警報動作時の点滅動作を行いません。

◎設定スイッチB-3　メモリー表示

警備中に警報動作があった事を表示する機能の有無を選択できます。
警報動作終了後よりフラッシュライトの点滅表示動作を開始し、一度解除してから再度警備を行うまで継続します。

スイッチ	設定	内容
ON 3	メモリー表示動作あり	メモリーがあるとフラッシュライトが約3秒ごとに0.05秒間の点灯動作を行います。
OFF 3	メモリー表示動作なし	メモリーがあってもフラッシュライト点滅動作を行いません。

●警報メモリーが残されている状態で警備を解除した場合は、このスイッチの設定に関係なく、解除表示（2回点滅）後2秒間点灯して報知します。

◎設定スイッチB-4　リモコン動作切替

シングルステーションモードでご使用時にのみ選択可能な機能です。
リモコンにより本機の警備／解除を行うか、警報停止を行うかを選択します。

スイッチ	設定	内容
ON 4	警備／解除	リモコンの警備ボタンを押すと警備状態に、解除ボタンを押すと解除状態になります。（警報動作中に解除ボタンを押すと、すぐに解除され、警報動作が停止します）
OFF 4	警報停止	警報動作中にリモコンの解除ボタンを押すと、すぐに警報動作が停止します。リモコンの警備ボタンを押しても停止しません。

●「警報停止」を選択した場合、本機は常時警備状態になります。

●リモコン動作切替が「警備／解除」設定時に、警備状態でのみ送信機のタンパーを受け付けます。
「警報停止」設定時には、受け付けません。

◎設定スイッチB-5　本体タンパー

本機のカバーを開けると、タンパーが機能して警報動作します。この本体タンパー機能の有無を選択します。

スイッチ	設定	内容
ON 5	あり	本体タンパーが機能します。
OFF 5	なし	本体タンパーは機能しません。

●カバーを開けたまま電源投入した場合や設定スイッチをOFFからONにした場合は一度カバーを閉めてから再び開けた時点で動作します。

8 動作確認

シングルステーションモード を使用時

①電源を供給し、電源表示灯（緑色）が点灯していることを確認してください。

②登録済み送信機より警報信号を送信させた時、本機の受信表示灯（赤色）が点灯し、機能設定で設定した通りに警報動作することを確認してください。
送信方法は、各送信機の取扱説明書をご覧ください。
またリモコンの警備／解除操作により機能設定で設定した通りに動作することを確認してください。

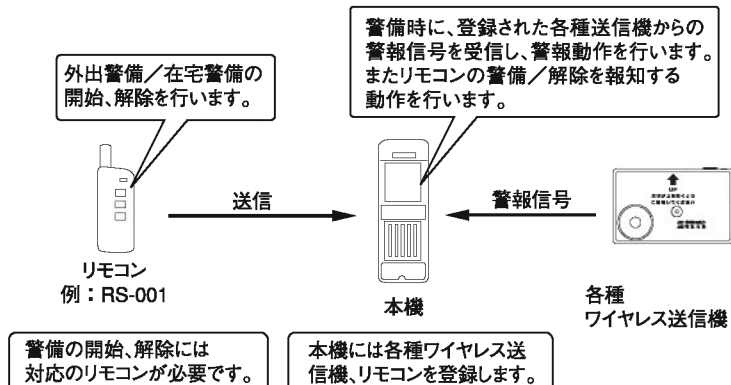
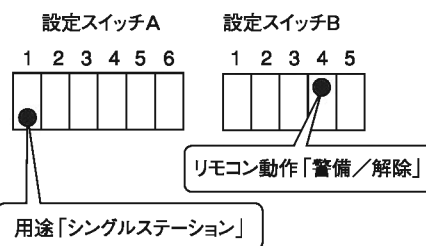
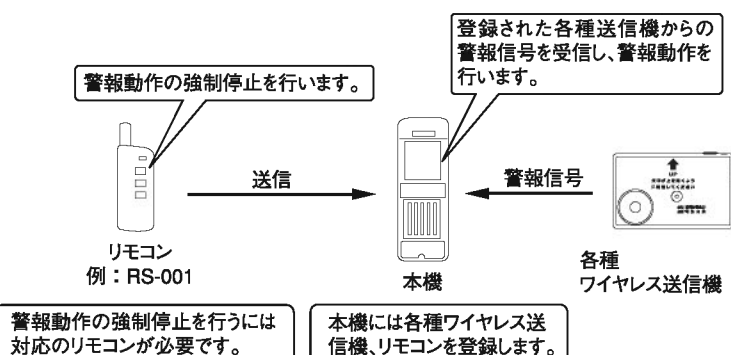
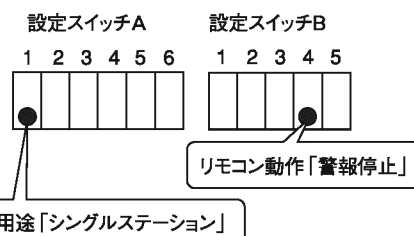
コントローラ連動モード を使用時

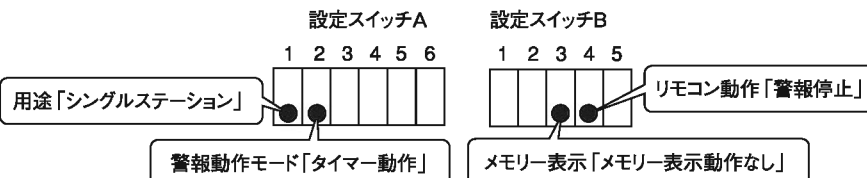
①電源を供給し、電源表示灯（緑色）が点灯していることを確認してください。

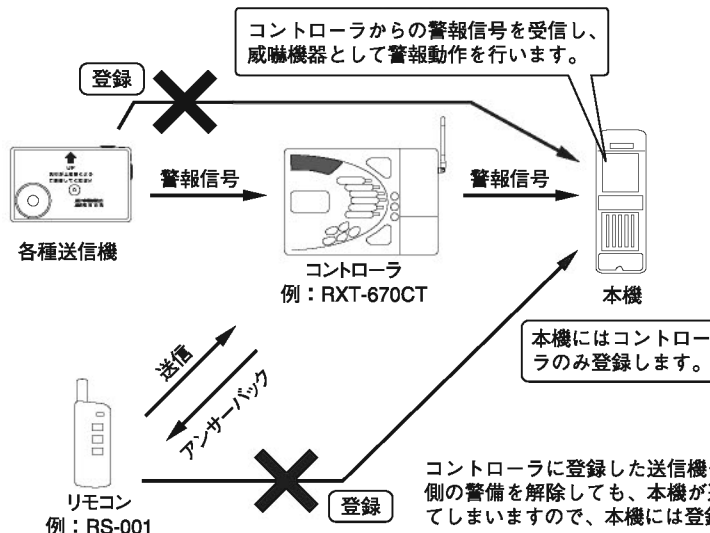
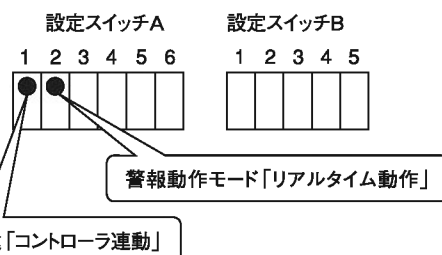
②コントローラを警報動作させた時、本機の受信表示灯（赤色）が点灯し、コントローラの動作に連動して本機が警報動作することを確認してください。

9 運用方法

シングルステーションモード

●ワイヤレス送信機を直接登録して、簡易セキュリティ受信機として使用します

●ワイヤレス送信機を直接登録して、常時警備のサイレンとして使用します

●常時警備のサイレンとしてリモコンを使用せずに運用する場合

警報動作の強制停止操作や警報メモリーの表示が不要な場合は、本機に各種ワイヤレス送信機を登録するだけで運用することができます。

コントローラ連動モード

●システムの無線威嚇機器として使用します

コントローラに登録した送信機やリモコンを本機にも登録すると、コントローラ側の警備を解除しても、本機が送信機からの信号を直接受信して警報動作になってしまいますので、本機には登録しないでください。

●簡易セキュリティ時の本機の動作

	警報出力	フラッシュライト	サイレン	表示灯
警報時の動作 （警報信号入力時）	接点が反転して出力	0.4秒点滅、0.4秒消灯のくり返し	連続鳴動	赤色：受信時間＋ 0.5秒点灯
警報メモリーの動作	――	警報動作の終了後約3秒ごとに 0.05秒間点灯 解除操作後、再警備で メモリーリセット	――	――
警備操作による切替	――	ループ異常がない場合 1回点滅 ループ異常がある場合 5回点滅	ループ異常がない場合 “ピッ” ループ異常がある場合 “ピー”×5回	赤色：0.5秒点灯
解除操作による切替	――	警報メモリーがない場合 2回点滅 警報メモリーがある場合 2回点滅後、2秒間点灯	警報メモリーがない場合 “ピッ ピッ” 警報メモリーがある場合 “ピッピッ”→“ピー”（2秒間）	赤色：0.5秒点灯
送信機の電池切れ時	――	――	20秒に1回の周期で“ピッ”	緑色：点滅 （0.1秒点灯・1.2秒消灯）

※警報動作中に解除操作をすると、その時の警報はメモリーとして残りません。

●常時警備時の本機の動作（リモコン使用時）

	警報出力	フラッシュライト	サイレン	表示灯
警報時の動作 （警報信号入力時）	接点が反転して出力	0.4秒点滅、0.4秒消灯のくり返し	連続鳴動	赤色：受信時間＋ 0.5秒点灯
警報動作の強制停止	接点が反転して復帰	停止	停止	赤色：0.5秒点灯
警報メモリーの動作	――	警報動作の終了後約3秒ごとに 0.05秒間点灯 強制停止でメモリーリセット	――	――
送信機の電池切れ時	――	――	20秒に1回の周期で“ピッ”	緑色：点滅 (0.1秒点灯・1.2秒消灯)

●常時警備時の本機の動作（リモコン不使用時）

	警報出力	フラッシュライト	サイレン	表示灯
警報時の動作 （警報信号入力時）	接点が反転して出力	0.4秒点滅、0.4秒消灯のくり返し	連続鳴動	赤色：受信時間＋ 0.5秒点灯
送信機の電池切れ時	――	――	20秒に1回の周期で“ピッ”	緑色：点滅 （0.1秒点灯・1.2秒消灯）

●コントローラ連動モード時の本機の動作

	警報出力	フラッシュライト	サイレン	表示灯
警報時の動作 （警報信号入力時）	接点が反転して出力	0.4秒点滅、0.4秒消灯のくり返し	連続鳴動	赤色：受信時間＋ 0.5秒点灯
警報メモリーの動作	――	警報動作の終了後約3秒ごとに 0.05秒間点灯 メモリーリセットは コントローラ側の設定による	――	――
警備／解除の操作 による切替	――	――	――	――
送信機の電池切れ時	コントローラ側の設定による	コントローラ側の設定による	コントローラ側の設定による	――

10 異常時の点検一覧表

以下の表にしたがって点検してください。点検の結果、なお正常な動作に回復しない場合は、ご購入店または弊社までお申し出ください。

状態	原因	処置
◎全く動作しない（電源表示灯消灯）	●電源が入っていない（断線も含む）	●電源ラインを確認する
◎全く受信しない（電源表示灯点灯、本体タンパーは動作する）	●使用機器が本機に登録されていない ●本機に電波が到達していない	●登録する ●電波が到達し易い場所に本機または送信側の機器の設置場所を変更するか中継機を使用する
◎受信しないことがある	●強い電界や磁界および電気ノイズを発生する機器が近くにある ●送信側の機器と本機との距離が遠すぎる	●該当機器から遠ざけるなど設置環境を再検討する ●設置場所を変更するか中継機を使用する

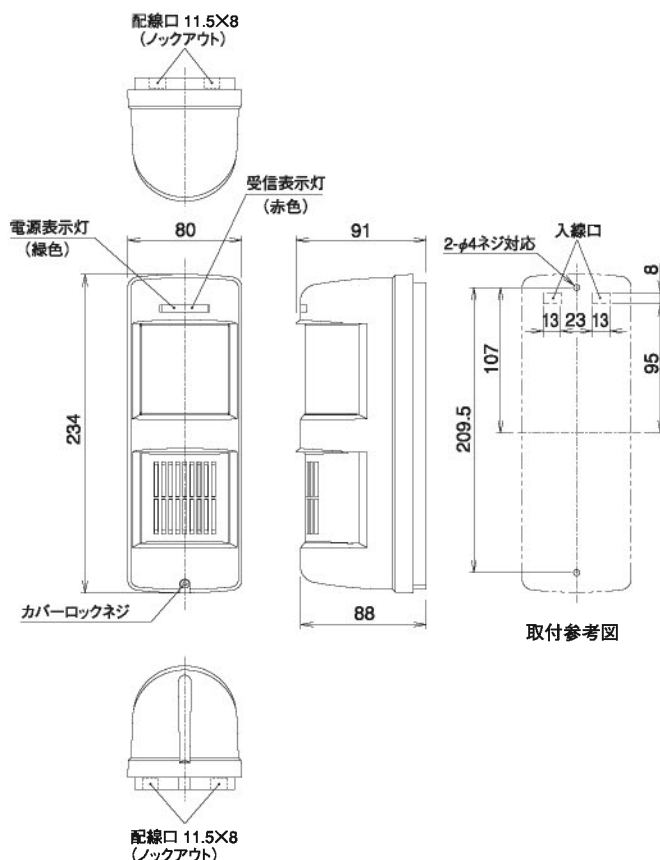
日常点検

1．お手入れの際は、やわらかい布で水ぶきした後、水滴をふき取ってください。
汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤を含ませたやわらかい布で軽くふいた後、洗剤が残らないようにふき取ってください。
シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。（プラスチック部品が変形、変色、変質するおそれがあります）

2．週１回程度は定期的に動作確認をおこなってください。

11 仕様

品名	黄色フラッシュ・サイレン付き受信機	
品番	EXR-25Y	EXR-25AY
電源入力	DC10～30V（極性なし）	AC100V 50/60Hz
消費電流／消費電力	330mA以下	2.5W
使用周波数帯	426MHz帯（小電力セキュリティシステムの無線設備）	
空中線	ヘリカルアンテナ（内蔵）	
受信可能距離	約100m（見通し距離）	
フラッシュ出力	閃光色：黄色（高輝度LED×12個） 点滅周期：警報時、約0.4秒点滅、0.4秒消灯をくり返す 警備へ移行時、約0.2秒１回点灯 解除へ移行時、約0.6秒の間2回点灯 （0.2秒点灯、0.2秒消灯、0.2秒点灯） メモリー表示動作時、約3秒ごとに点灯	
サイレン出力	音量：警報時、無音～95dB以上（音量ボリュームにより可変） 警備／解除時の報知音は音量ボリュームに関係なく一定音量 鳴動周期：警報時、連続鳴動 警備へ移行時、約0.2秒１回鳴動（フラッシュに同期） 解除へ移行時、約0.6秒の間2回鳴動（フラッシュに同期）	
警報出力	接点方式：無電圧半導体接点（ａ接点） 接点動作：警報動作モード「タイマー動作」設定時、設定時間動作（10秒、30秒、120秒、300秒）リトリガなし 警報動作モード「リアルタイム動作」設定時、コントローラに連動または接点入力型送信機の動作に連動（ただし最大動作時間は10分） 接点定格：AC/DC24V・0.25A以下（抵抗負荷）接点保護抵抗３Ω内蔵	
電源表示灯（緑色LED）	通電時：点灯（ただし、警備表示ありの場合警備中は消灯） 送信機電池切れ報知時：点滅（0.1秒点灯、1.2秒消灯） 定期送信異常報知時：点滅（0.3秒の間2回点灯、1.2秒消灯） 停電バックアップ時：点滅（1秒点灯、1秒消灯） 専用非常電源使用時のみ（EXR-25AY） 送信機で電池切れ ＋ 定期送信異常報知時：点滅（両点滅動作を交互表示）	
受信表示灯（赤色LED）	受信レベル正常時：点灯（受信時間＋0.5秒間） 受信レベル低下時：点滅（受信時間＋4秒間） 警備時：点灯	
送信機登録可能台数	50台	
タンパー動作	送信機タンパー：タンパー信号受信時、タイマー設定時間の間警報動作 （コントローラ連動モード時はコントローラの動作に連動） 本体タンパー：本体カバー開時、タイマー設定時間の間警報動作	
警報メモリー動作	警報動作後の報知動作：約３秒ごとにフラッシュライト点灯 （一度解除後、再び警備状態に移行するまで継続） 解除動作時の報知動作：解除へ移行動作後 2秒間フラッシュライト点灯と報知音鳴動動作	
送信機電池切れ報知機能	電源表示灯：点滅（0.1秒点灯・1.2秒消灯） サイレン：20秒ごとに約0.2秒鳴動	
使用可能周囲温度	−10℃～＋50℃	
配線接続	端子式	
設置場所	屋外・屋内	
質量	約500g	約600g
外観	本体：AES樹脂（ホワイト）　レンズ：PC樹脂（イエロー）	

12 外形寸法図（単位：mm）

■オプション

●専用非常電源　BA-20A
●壁掛金具　BW-24
●ポールアタッチメント　BP-22（φ38～φ43用）
●ポールアタッチメント　EP-01＋BW-24（最大φ140用）

Exsight
エクサイト株式会社
〒607-8345 京都市山科区西野離宮町16-1
Tel. 075-594-8288 Fax. 075-594-8380
http://www.exsight.co.jp